

道路周辺の3次元座標、映像情報を走行しながら収集

高さ

広さ

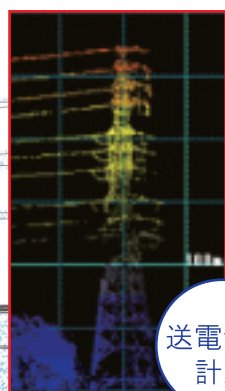
細かさ

+

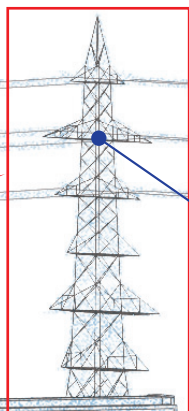
反射
強度

を

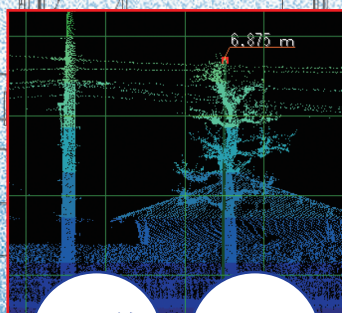
一括計測



送電鉄塔
計測

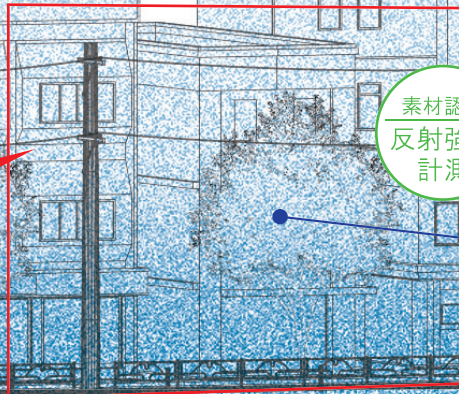


形状計測



電力線
管理

樹木管理



素材認識
反射強度
計測

市立病院
外観・内観・小児科

看板調査



モービル・マッピング・システム (MMS)

GeoMaster NEO

[NETIS登録番号] SK-180010-A (2018年8月登録)

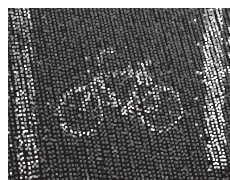
高密度計測

900 点/m²

上下左右にそれぞれ毎秒30万点の計測ができます。これにより、道路面だけでなく周辺の地形や構造物の形状まで詳細に計測できます。
計測された座標値に現実空間の色をつけることで写真品質の表現ができます。

GeoMasterNEO

従来機材



900点/m²

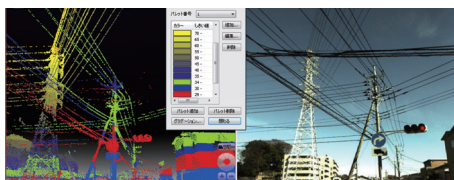


80点/m²

広範囲計測

ロングレンジレーザ

ロングレンジのレーザ装置を採用することにより、道路周辺の構造物だけでなく遠方の電力線まで広範囲に計測ができます。
一度に広範囲のデータを取得できることで走行距離を削減した効率的な計測が実現できます。

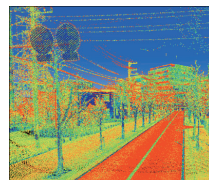


送電鉄塔の標高別表示

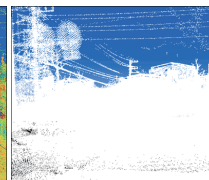
素材認識

反射強度点群データ

3次元計測された測点それぞれの反射率もデータとして保有しているため、対象物体の相違を認識可能となりました。そのため周辺の明るさ、影に影響されない映像表現が可能となっております。トンネル内部、夜間計測が可能となり多角的な応用ができます。



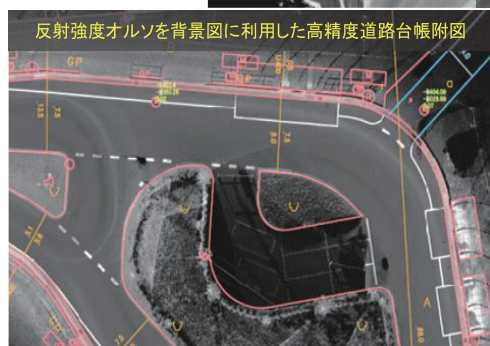
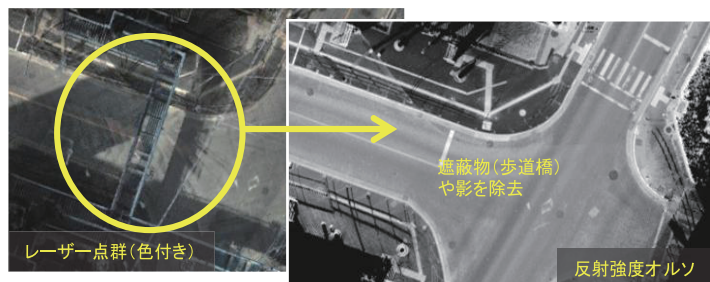
反射強度あり



反射強度なし

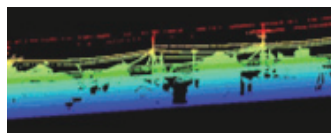
高精度“反射強度オルソ”

点群データを反射強度で正射投影することで、高精度な反射強度オルソを作成することができます。レーザー計測点からオルソ画像を作成するため、写真オルソの問題である歪みの影響は受けず、高精度な図面を作成することができます。



路面高による色分けと抽出

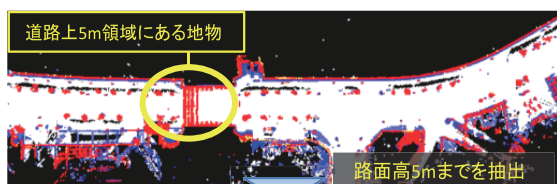
路面高（地面からの高さ）による色分け表示や、指定した高さの範囲を抽出して表示することができます。坂道のような標高値を使用したデータ抽出に適していない場所でも、地面から一定の高さのデータのみを容易に抽出することができ、建築物や道路付属物等の管理を効率化します。



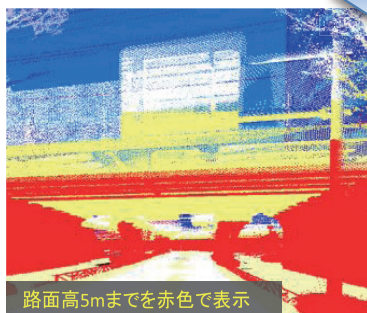
路面高による色分け



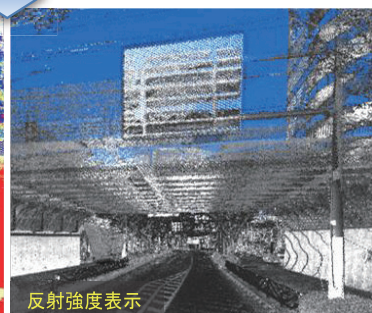
標高による色分け



路面高5mまでを抽出



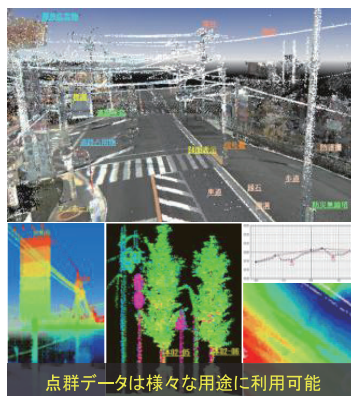
路面高5mまでを赤色で表示



反射強度表示

後から高精度“机上計測”

点群データは、1度の計測で様々な地物を取得するため、PCで高精度な机上計測が可能です。そのため、目的ごとの現地再計測が不要となり、コスト削減・データ整合性確保につながります。



点群データは様々な用途に利用可能

- 道路台帳更新
- 路面性状調査
- 道路付属物調査
- 街路樹の調査
- 屋外広告物調査
- 下水道管理
- トンネル調査
- ...etc

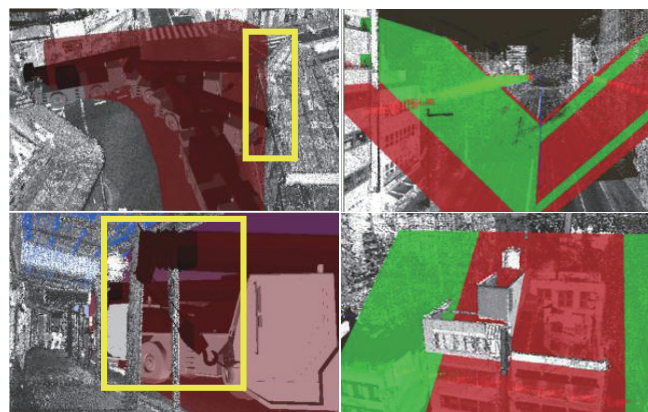
3次元情報の利用による
成果物の高品質化

現地再計測不要による
トータルコストの削減

1度に多様な地物取得による
データ整合性確保

らくらく“3次元分析”

点群データに3次元モデルを配置・生成することで、両者の干渉部分を簡単に把握できます。車両通行時の接触範囲確認や道路幅員の1/2を超える建築物の抽出など、2次元では困難な分析も容易に実現できます。

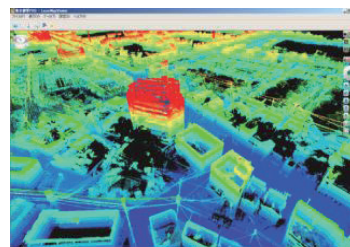


特殊車両通行許可判定

緊急輸送道路沿道の建築物調査

“LaserMapView” × 高密度点群クラウド

点群データを扱うLaserMapViewは、柔軟な表示機能と豊富な計測機能を提供し、常時1,000万点以上の点群データを高速に処理することができます。LaserMapViewは、大容量点群データをクラウドサービスで利用することができ、ニーズに合わせたシステム構成を提供します。



LaserMapView

3次元点群データ表示ソフトウェア

- 高密度点群クラウドにより、
- 大量HDDの管理から解放
- データ共有化の促進

